

2022年5月31日  
株式会社トーモク  
ESG推進室

## 温室効果ガス排出削減に向けて購入電力の再生可能エネルギー化を加速

株式会社トーモクは、2021年度、国内17工場中、5工場において、外部から購入する電力をバイオマス、太陽光、風力、地熱等の再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを完了致しました。また、2022年度は7工場、2023年度は4工場で切り替える計画で、2024年度中にはすべての工場で切り替えが完了する予定\*です。

トーモクグループでは、SDGsに賛同し、2030年度までにScope1と2の合計で、2013年度比50%の温室効果ガス排出削減を目指しており、燃料の重油から天然ガスへの転換、構内作業用リフトのバッテリー化、照明のLED化、生産設備の省エネルギー化、EVトラックの導入等により、温室効果ガス排出量の削減を加速させてまいります。

(\*電力をすべて再生可能エネルギー由来の電力に切り替えることで4割強の温室効果ガス削減に貢献できます)

弊社厚木工場は、グループ内で最初に再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えた段ボール工場です。昨年、神奈川県より厚木市内の企業で初めて「かながわ再エネ電力利用事業者」の認定を受けましたが、本年から知事と市町村の連盟で認定証を交付することになり、厚木市長名で再度交付を受けました。

### 厚木市認定証交付式典（令和4年5月23日）



正面右：小林厚木市長 左：(株)トーモク伊藤執行役員・厚木工場長